

第38回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成27年4月 発行

特別調査 「まち・ひと・しごと創生」と中小企業

長岡信用金庫 総合企画部

TEL (0258) 36-4344

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

【実績】平成26年10月～平成27年3月

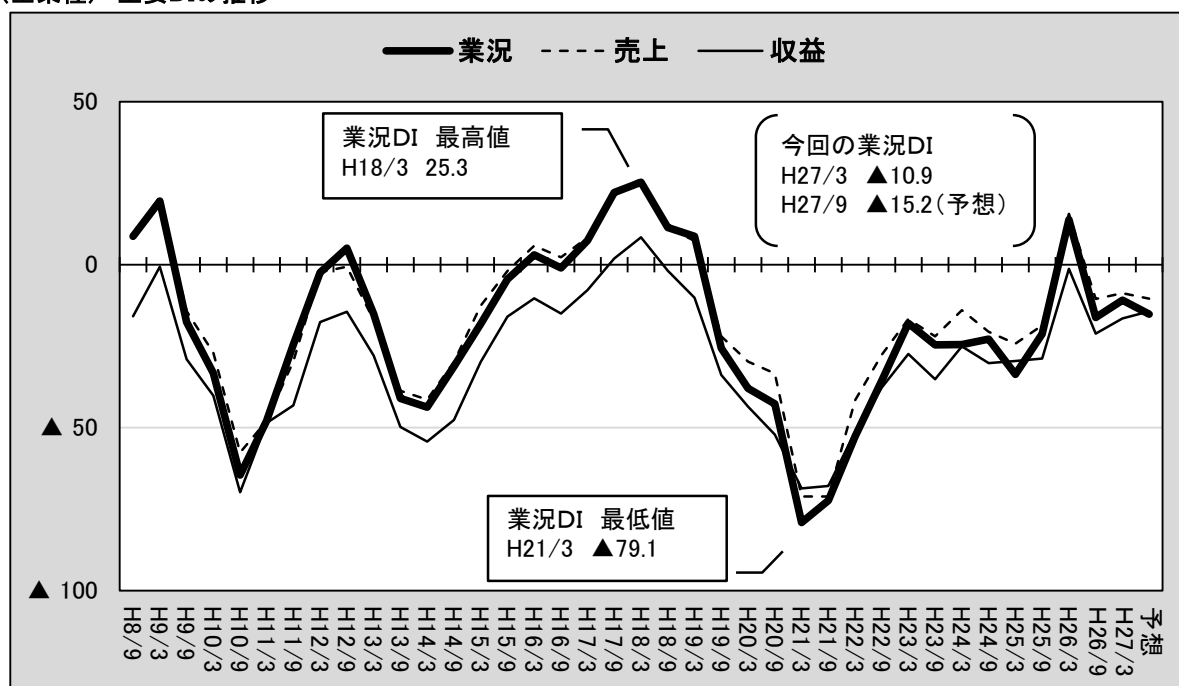
【予想】平成27年4月～平成27年9月

・全体の業況、売上、収益は消費税増税による反動の影響も薄れ改善となった。予想は、業況、売上とも先行き不透明感から若干の悪化見込み、収益は若干改善の見込み。
 ・業種別では、製造業が業況、売上でDIがプラスへ。建設業が業況、売上でDIがプラスからマイナスとなる。他の業種は、DIマイナスのまま。
 ・今後の人材確保については、新規採用の拡充13.5%、中途採用の拡充25.8%となる。

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 16.2	5.3 (改善)	▲ 10.9	-4.3 (悪化)	▲ 15.2
売上	▲ 10.5	1.8 (改善)	▲ 8.7	-1.7 (悪化)	▲ 10.4
仕入価格	56.2	-10.8 (改善)	45.4	-2.0 (改善)	43.4
販売価格	3.1	2.2 (改善)	5.3	0.0 (横這)	5.3
収益	▲ 21.1	4.6 (改善)	▲ 16.5	2.2 (改善)	▲ 14.3
在庫	6.3	1.9 (悪化)	8.2	-4.3 (改善)	3.9
受注残高	▲ 8.8	4.0 (改善)	▲ 4.8	-1.5 (悪化)	▲ 6.3
資金繰り	▲ 13.2	5.4 (改善)	▲ 7.8	-3.6 (悪化)	▲ 11.4
人手	▲ 21.6	6.4 (改善)	▲ 15.2	0.0 (横這)	▲ 15.2
設備状況	▲ 10.1	5.3 (改善)	▲ 4.8	-4.4 (悪化)	▲ 9.2

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

- ・業況、売上はDI値がプラスに改善したが収益は悪化。予想は、業況、売上若干悪化、収益は改善見込み。
- ・今後の人材確保については、新規採用の拡充11.3%、中途採用の拡充 25.4%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 4.5	9.0 (改善)	4.5	-2.3 (悪化)	2.2
売上	▲ 4.5	10.1 (改善)	5.6	-1.1 (悪化)	4.5
収益	▲ 4.5	-9.0 (悪化)	▲ 13.5	5.6 (改善)	▲ 7.9

(建設業)

- ・業況、売上、収益ともに悪化しDI値マイナスに。予想は、業況、売上悪化、収益は改善見込み。
- ・今後の人材確保については、新規採用の拡充20.2%、中途採用の拡充 25.5%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	0.0	-7.5 (悪化)	▲ 7.5	-3.8 (悪化)	▲ 11.3
売上	2.0	-7.7 (悪化)	▲ 5.7	-3.7 (悪化)	▲ 9.4
収益	▲ 2.0	-11.2 (悪化)	▲ 13.2	9.4 (改善)	▲ 3.8

(卸売業)

- ・業況、売上は改善、収益は大幅改善となる。予想は、業況改善、売上、収益は横這見込み。
- ・今後の人材確保については、新規採用の拡充12.5%、中途採用の拡充 28.1%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 40.0	13.7 (改善)	▲ 26.3	5.2 (改善)	▲ 21.1
売上	▲ 20.0	4.2 (改善)	▲ 15.8	0.0 (横這)	▲ 15.8
収益	▲ 60.0	49.5 (改善)	▲ 10.5	0.0 (横這)	▲ 10.5

(小売業)

- ・業況、売上、収益は改善。予想は、業況、売上悪化、収益は改善見込み。
- ・今後の人材確保については、新規採用の拡充11.1%、中途採用の拡充 20.0%。

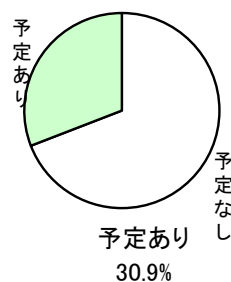
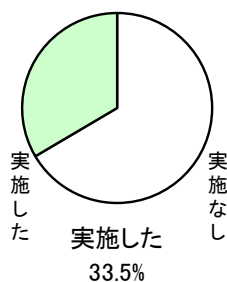
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 58.6	20.7 (改善)	▲ 37.9	-10.4 (悪化)	▲ 48.3
売上	▲ 48.3	13.8 (改善)	▲ 34.5	-6.9 (悪化)	▲ 41.4
収益	▲ 51.7	17.2 (改善)	▲ 34.5	3.5 (改善)	▲ 31.0

(その他)

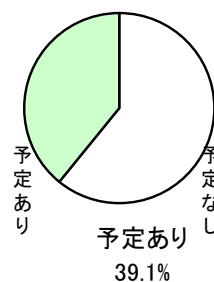
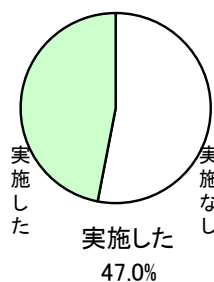
- ・業況、売上は悪化、収益は改善。予想は、売上改善、業況、収益は悪化見込み。
- ・今後の人材確保については、新規採用の拡充11.9%、中途採用の拡充 29.9%。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 19.5	-3.0 (悪化)	▲ 22.5	-10.0 (悪化)	▲ 32.5
売上	▲ 7.3	-15.2 (悪化)	▲ 22.5	2.5 (改善)	▲ 20.0
収益	▲ 39.0	21.5 (改善)	▲ 17.5	-15.0 (悪化)	▲ 32.5

(全業種) 設備投資の実施と予定



(全業種) 借入の実施と予定



(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	17.7%	12.6%	16.9%	19.3%	23.0%	26.0%
同業者間の競争激化	11.6%		17.6%	14.0%	16.2%	10.6%
利幅の縮小	13.4%	13.8%	15.4%		12.2%	13.5%
材料価格の上昇		12.6%				
仕入先からの値上げ要請				14.0%		

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	21.1%	20.0%	20.2%	27.5%	21.1%	21.4%
経費を削減する	18.5%	15.1%	19.1%	21.1%	24.3%	20.2%
情報力を強化する				10.5%	9.5%	17.3%
人材を確保する			14.7%			
技術力を強化する	13.3%	19.2%				
仕入先を開拓・選別する					9.5%	

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・受注先の選別ができるまで受注回復しているが、県外の受注割合が高く、県内の景気回復は感じられない。
- ・県産材の販売促進に向けての機械設備の補助金決定。今後の設備稼働による業況進展に期待。
- ・依然として車両関連の部品加工受注は好調推移。従業員が中心となった業務改善策が収益確保に貢献。
- ・売上・受注量は前年並み、しかし、仕入・電気料金等の高騰より減益予想。省エネ補助金の活用を検討。
- ・受注は確保しているが、単価は厳しい。外注先は、加工先確保のため単価引下げは難しく、収益面悪化。
- ・受注先の部品調達、海外から国内にシフトしている。円安に伴うコスト調整より、値引き要請が強い。
- ・他社にはできない技術力があり、年々売上増加。しかし、円安による原材料仕入価格の高騰により収益減少。
- ・受注量は前期並み確保できるが、人手不足で求人を出しても集まらないため、外注依存比率が高くなる。
- ・ものづくり補助金利用で設備導入済み。この設備で新しい仕事も流れてくる兆しあり、売上増加見込み。
- ・関東方面の受注は好調、長岡市内の動きも少し出てきている。従業員の高齢化に伴い、人材確保が課題。

(建設業)

- ・春先の仕事も決まり雪消えも早く着工した。住宅建替の他、リフォーム工事決まっているが、新築受注はない。
- ・例年1月は降雪期で売上減少するが、今年は小雪であったため、好調推移した。
- ・アベノミクスによる公共工事受注は好調推移、および受注単価アップにより利益計上できた。
- ・住宅エコポイント導入と消費税増税時期を勘案しながら、リフォームを主力に事業展開を図る。
- ・公共工事を中心に受注しており業況安定先。従業員全体の高齢化が課題。
- ・地元の災害復旧工事等、公共工事が一巡したため、手持受注残高減少。売上、収益共に減少見込み。

(卸売業・小売業)

- ・主力先からの受注は安定しているが、円安の影響で生花の仕入価格上昇、収益面は下降。
- ・消費税増税の反動から回復し、昨年10月以降の売上・利益ともに前年並みに推移している。
- ・業況は少しずつ回復。10～20年前の好調時に比べ市場要因もあるが、団塊世代退職による戦力低下が大きい。
- ・ネット販売強化により売上増加傾向。雪消えが早いので、春物商品販売も例年に比べ早くなりそう。
- ・市内の宅地造成による住宅着工は、ハウスメーカー工事増加。補助金等によるリフォーム、新築に期待している。

(その他)

- ・運送費の価格は見直してもらえないが、燃料費高騰分は見てもらえる。受注はあるが人手不足で困っている。
- ・顧客が徐々に高齢化していく中、他店との差別化に取組み、売上は上昇している。
- ・仕入価格上昇を価格に転嫁せず、創意工夫にて対応している。
- ・例年に比べ、小雪の影響で売上伸びず。収益・資金繰りに厳しい。

特別調査 「まち・ひと・しごと創生」と中小企業

問1

2014年12月27日に、政府から、地方創生のための「まち・ひと・しごと」にかかるビジョンと戦略が公表されました。「地方における安定した雇用(しごと)を創出する」という基本目標のなかで、「力強い地域産業の競争力強化」の必要性が示されています。貴社における新たな「しごと」づくりについて、以下の1～10のなかからあてはまるものを3つ以内で選んでお答えください。

1. 販路開拓(海外含む)の強化	23.6%	6. 地元金融機関との連携強化	10.7%
2. 新商品・サービスの開発	13.8%	7. 企業間連携への参加・強化	11.4%
3. 増産・営業力の強化	21.8%	8. 不採算部門の縮小等による業態転換	3.8%
4. 新規事業の立ち上げ(起業)	2.7%	9. その他()	0.4%
5. 産学官連携への参加・強化	2.2%	0. 検討していない	9.6%

問2

ビジョンと戦略では、「地方への新しいひとの流れをつくる」という基本目標が掲げられています。こうしたなかで、貴社では、今後の人材確保に向けてどのような対応が考えられますか。次の1～10のなかから3つ以内で選んでお答えください。

1. 新規採用の拡充	13.5%	6. 福利厚生(住居等)の充実	5.5%
2. 中途採用の拡充	25.8%	7. 地元外の大都市圏にある大学へのPRの拡充	0.5%
3. 女性の活躍の場の拡充	8.9%	8. 地元大学・高専・高校・中学へのPRの拡充	2.7%
4. 遠隔勤務(テレワーク等)	0.2%	9. ハローワークとの連携強化	14.2%
5. 給与水準の引上げ	14.5%	0. わからない	14.2%

問3

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という基本目標が示される中で、貴社では、子育て世代に対応するため、今後の職場環境づくりでどのような対応が考えられますか。次の1～10のなかから3つ以内で選んでお答えください。

1. 非正規雇用の正規化	6.6%	6. 出産休暇・育児休暇の取得促進	11.7%
2. 金銭面での子育て支援の拡充	9.4%	7. 職務・地域を限定する等多様な正規雇用の導入	4.0%
3. 勤務時間面での子育て支援の拡充	17.1%	8. ハラスメント問題への対応強化	0.3%
4. 保育施設(託児所)等での子育て支援の拡充	1.1%	9. 結婚希望者の実現支援	6.3%
5. 年次有給休暇の取得促進	15.4%	0. わからない	28.0%

問4

「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という基本目標のなかで、地域の課題は地域で解決する観点からの各種施策が示されています。貴社では、こうした施策全般に対して、地元自治体にどのようなことを期待していますか。次の1～10のなかから3つ以内で選んでお答えください。

1. 医療・福祉等生活サービスの拡充	12.1%	6. 地産地消・地元発注の拡充	23.1%
2. 公共交通の維持・拡充	3.2%	7. 規制緩和の拡充	7.1%
3. 都市機能の集約・コンパクト化	5.7%	8. 公共施設・公的不動産の有効活用	4.0%
4. 助成金等補助制度の拡充	25.5%	9. 地域防災の充実	3.0%
5. まちおこしの支援拡充	10.7%	0. 期待していない	5.5%

問5

ビジョンと戦略では、「東京一極集中の是正」が大きな克服課題の一つとされるとともに、「地方中核都市」には大都市圏への人口流出を食い止める機能が期待されています。貴社では、これらに対してどのように受けとめていますか。以下の①(1～5)のなかから1つ、②(6～10)のなかから1つ、それぞれ最も当てはまるものを選んでお答えください。

①東京一極集中の是正に対して		②地方中核都市の機能強化に対して	
1. 非常に期待している	8.3%	6. 非常に期待している	13.7%
2. 期待している	24.5%	7. 期待している	40.7%
3. あまり期待していない	45.9%	8. あまり期待していない	32.7%
4. まったく期待していない	10.9%	9. まったく期待していない	4.9%
5. どちらともいえない	10.5%	0. どちらともいえない	8.0%

調査要領

調査時点 : 平成27年3月

調査方法 : 当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査

対象期間 : 【実績】平成26年10月～平成27年3月 【予想】平成27年4月～平成27年9月

調査地域 : 当金庫営業地域【長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市】

調査先 : 230先(回収率100%)

分析方法 : 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自信の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。